（様式第3号）

指定管理施設事業評価票(令和6年度分）

1. 施設所管課

教育委員会事務局 生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市立図書館（今市・日光・藤原）
	所在地	日光市中央町29番地1　日光市御幸町4番地1　日光市鬼怒川温泉大原1404番地1
指定管理者	名称	株式会社図書館流通センター・株式会社近代ビル管理社共同事業体
	代表者名	株式会社図書館流通センター　代表取締役　谷一　文子
	住所	東京都文京区大塚三丁目１番１号

指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5　年間
選定方法	公募	評価実施年	5　年間のうち	3　年目

施設設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与することを目的として、日光市立図書館を設置する。
主な実施事業	・窓口業務（資料の貸出・返却・予約・検索・調査相談・相互貸借） ・資料発注業務及び資料の登録、整理、除籍等（資料の選定、発注、データ処理、配架、除籍処理、リサイクル） ・自主事業の開催（展示、各講座等の企画及び実施.事後報告） ・市内小学校への移動図書館の定期的実施

3. 利用状況（目標と実績）

	成果指標	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	資料貸出数	点	338,200	316,197	341,400	307,999	344,600	301,720				
b	市民一人あたり貸出数	点	4	4	4	4	4	4				
c	事業開催件数	回	88	92	89	97	90	110				
d	管理運営全般の満足度	%	85	85	89	88	90	90				
e	接遇の満足度	%	85	97	89	98	90	98				

4. 指定管理業務にかかる収支状況

（ 単位：円 ）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計　A	156,364,313	156,115,369	155,067,114	0	0
指定管理料	156,364,313	156,082,209	155,000,000		
利用料収入　C	0		0		
自主事業収入	0		21,614		
その他	0	33,160	45,500		
支出計　B	153,037,858	154,909,437	154,001,080	0	0
指定事業費	152,047,005	153,899,468	152,349,550		
内人件費　D	91,242,093	90,544,238	90,239,204		
内外部委託費　E	4,463,460	4,427,460	4,427,460		
自主事業費	990,853	1,009,969	1,651,530		
事業収支　A－B	3,326,455	1,205,932	1,066,034	0	0
人件費率　D／B	59.62%	58.45%	58.60%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率　E／B	2.92%	2.86%	2.87%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	今市図書館での防災アンテナ設置にかかる電気使用量の収入及び文化会館チケット委託販売手数料収入があった。

サービス改善の状況

・「街の魅力を本で高める」をコンセプトにライブラリーブックサーカスという大規模なイベントを実施した。展示は3館共に、イベントは今市館にて集中して行った。10/5・6の2日間で延450人弱の参加があり、図書館の存在と楽しさを幅広い層にアピールできた。また展示は地域で活躍する方々に本を選書して頂き、本と人と郷土の結びつきを見せる事ができた。

・藤原図書館の空調設備不調により、夏場は利用者の安全を考慮し2階を一部閉鎖した。一般書架の閲覧ができなくなった為、文学の資料を1階へ下ろしたり、今市図書館から譲り受けた書棚を活用し、様々な展示を実施した。利用者からは、2階に行かなくても本を探せるので助かるといった声があった。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B
		避難経路が適切に確保されている。	B	B
	総括	**「業務の実施体制」に関する評価【17項目】**	B	B
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
	総括	**「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】**	B	B
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	**「経費の収支等」に関する評価【4項目】**	B	B

所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) ・ライブラリーブックサーカス開催と成功が本年度の一番の成果と評価する。一方イベントはスポットの取組みであり、日常利用の満足度も恒常的にアップさせていく必要がある。具体的には、より快適な空間提供と、より充実した蔵書収集・管理と考える。前者は経年劣化の問題もある為、市と情報共有を密に対応する。後者は各館共に収蔵能力を超えている為、選書購入と除籍をバランスよく行って対応する。 (所管課評価) ライブラリーブックサーカスの実施により、図書館の魅力発信や地域の方々との連携が図れたことは評価したい。イベントによる集客は一時的なものではあるが、来館のきっかけになるため、引き続き市民の興味を引くようなイベントに取り組んでいただきたい。資料貸出数が目標値に及ばず、一要因として藤原図書館夏季利用制限や日光図書館での団体貸出数減が考えられるが、利用者のリクエストやニーズに合わせた選書を行うことで来館者や資料貸出数の減少を抑えるとともに、利用者へのサービス向上に取り組んでいただきたい。

前年度総合評価	B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準　A(優良)　＝　協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

B(良好)　＝　協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

C(要改善)　＝　一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価　A(優良)　＝　評価項目のうち、A判定が80%以上

B(良好)　＝　A、C 以外

C(要改善)　＝　評価項目のうち、C判定が20%以上

総合評価　A(優良)　＝　自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。

B(良好)　＝　A、C 以外

C(要改善)　＝　自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。